

## 施設基準等について

### 【明細書発行体制加算について】

当院では、医療の透明化や患者さまへの情報提供を積極的に推進していく観点から、領収書の発行の際に個別の診療報酬の算定項目の分かる明細書を無料で発行しております。

### 【一般名処方加算について】

当院では、後発医薬品のある医薬品について、特定の医薬品名を指定するのではなく、薬剤の成分をもとにした一般名処方（一般的な名称により処方箋を発行すること※）を行う場合があります。一般名処方によって特定の医薬品の供給が不足した場合であっても、患者さんに必要な医薬品が提供しやすくなります。ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

※一般名処方とは お薬の「商品名」ではなく、「有効成分」を処方せんに記載することです。

### 【医療 DX 推進体制整備加算】

当院では、質の高い診療を実施するため以下の取り組みを行っています。

- ・オンライン請求を行っています。
- ・オンライン資格確認を行う体制を有しています。
- ・オンライン資格確認等システムにより取得した診療情報等を活用して診療を実施しています。
- ・マイナ保険証の利用を促進する等、医療 DX を通じて質の高い医療を提供できるよう取り組んでいます

## 施設基準の届出に関する事項

当院は、次に掲げる諸施設基準の届出を行っています。

### 〈1〉基本診療の施設基準

- 明細書発行体制加算
- 時間外対応加算 1

### 〈2〉特掲診療科の施設基準

- 透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
- 医療機器安全管理料 1
- がん治療連携指導料
- 人工腎臓 1
- 人工腎臓導入期加算 1
- 下肢末梢動脈疾患指導管理加算

専門的な治療が必要となった場合は下記の医療機関へ紹介させていただきます

紹介先：名古屋共立病院

- 外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅰ）
- 外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅱ）
- 医療 DX 推進体制整備加算

## 【 保険外負担一覧 】

2024年10月1日改訂

項目	金額	備考
診察券（再発行）	110円／1枚（税込）	紛失時は、スタッフに声をかけてください。
紙おむつ	165円／1枚（税込）	持込は、禁止です。
尿パッド 尿パッドワイド	55円／1枚（税込） 65円／1枚（税込）	持込は、禁止です。
使い捨て尿器・便器	220円／枚（税込）	持込は、禁止です。
病衣貸与	110円／枚（税込）	原則は持込となります。

医療法人偕行会

# 文 書 料

2021年4月1日～

文書の種類	料金
一般診断書	¥2,200
年金診断書	¥5,500
年金現況届	¥5,500
生命保険診断書	¥5,500
自立支援医療要否判定意見書（新規申請）	¥2,200
老人保健施設入所用診断書（グループ内）検査含む	¥5,500
老人保健施設 入所用診断書（他老健入所）	¥2,200
身体障害者手帳診断書	¥5,500
おむつ証明書	¥2,200
その他の診断書	¥2,200～
その他の証明書	¥2,200～

文書料は、全て消費税込みの金額です。

医療法人偕行会

## 透析医療の自主機能評価指標について

評価指標項目	
I.施設の状況	
1.施設の設備	
①施設の種別	病院・有床診療所・ <u>無床診療所</u>
②(有床の場合)病床数	0床
③パーシェントステーション台数(透析ベッド数)	81台
2.施設の機能	
①準夜透析の可否(21時以降終了)	可・ <u>一部曜日可</u> ・不可
②(可の場合)透析室の終了時間(通常時の最終透析回収時間)	22時30分
③オーバーナイト透析の可否(日をまたがる透析で6時間透析以上)	可・ <u>不可</u>
④在宅血液透析の可否	可・ <u>不可</u>
⑤オンラインHDFの可否	<u>可</u> ・不可
⑥シャント手術の可否	可・ <u>グループ施設で可</u> ・不可
⑦PTAの可否	可・ <u>グループ施設で可</u> ・不可
⑧障害者自立支援医療機関かどうか	<u>自立支援医療機関である</u> ・ではない
⑨処方区分(院内処方・院外処方)	院内処方・ <u>院外処方</u> ・一部院外処方
⑩腎代替療法実績加算の有無	ある・ <u>ない</u>
⑪下肢末梢動脈疾患指導管理加算の有無	<u>ある</u> ・ない
3.医療スタッフの状況	
①透析に関わる医師数	常勤: 1人 非常勤(週1回以上勤務): 7人
②透析医学会会員の医師数	1人
③透析専門医の人数	0人
④透析技術認定士の人数	1人
⑤透析に関わる看護師数	常勤: 18人 非常勤(週1回以上勤務): 0人
⑥腎不全看護認定看護師の人数	0人
⑦慢性腎臓病療養指導看護師の人数	0人
⑧透析に関わる臨床工学技士数	常勤: 6人 非常勤(週1回以上勤務): 0人
⑨血液浄化専門臨床工学技士の人数	0人
⑩認定血液浄化臨床工学技士の人数	0人
⑪透析に関わるメディカルソーシャルワーカーの人数	常勤: 0人 非常勤(週1回以上勤務): 1人
⑫管理栄養士の人数	常勤: 1人 非常勤(週1回以上勤務): 0人
II.患者の状況	
①外来HD患者数	160人
②外来PD患者数	0人
③外来透析患者に対する後期高齢者患者の比率	38%
III.治療指標(外来HD患者対象)	
①腎性貧血管理(Hb 10.0g/dl以上の比率)	90%
②P管理(P 6.0mg/dl以下の比率)	80%
③PTH管理(iPTH 240pg/ml以下、あるいはwhole PTH150pg/ml以下の比率)	79%
④透析時間(4時間以上の患者の比率)	100%
⑤透析時間(5時間以上の患者の比率)	1%
⑥透析時間(6時間以上の患者の比率)	0%
⑦透析量(Kt/V 1.2以上の比率)	96%